



# DIAS\_Satellite\_ALOS\_PRISM\_1B1 データセット

## 1. 識別情報

名称	DIAS_Satellite_ALOS_PRISM_1B1データセット
メタデータID	DIAS_Satellite_ALOS_PRISM_1B120181216222424-DIAS20180903143952-ja

## 2. 問い合わせ先

### 2.1 データセットに関する問い合わせ先

名前	濱本 昂
組織名	宇宙航空研究開発機構
住所	日本, 305-8505, 茨城県, つくば市, 千現2-1-1
電話番号	+81 50 3362 7989
ファクシミリ番号	+81 29 868 2961
電子メールアドレス	hamamoto dot ko dot at jaxa dot jp

### 2.2 プロジェクトに関する問い合わせ先

#### 2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	一般財団法人リモート・センシング技術センター
住所	日本, 105-0001, 東京都, 港区, 虎ノ門3丁目17-1 TOKYU REIT 虎ノ門ビル2階
電子メールアドレス	dias-office@diasjp.net

## 3. ドキュメント作成者

名前	濱本 昂
組織名	宇宙航空研究開発機構
電子メールアドレス	hamamoto dot ko dot at jaxa dot jp

## 4. データ作成者

名前	濱本 昂
組織名	宇宙航空研究開発機構
電子メールアドレス	hamamoto dot ko dot at jaxa dot jp

---

## 5. ドキュメント作成年月日

2018-12-16

## 6. データ作成年月日

revision : 2016-01-21

## 7. データセット概要

### 7.1 序論

CEOP衛星データセットは、衛星オリジナルデータから等緯度経度格子ヘリサンプリングしたグリッドデータである。データ期間はCEOPフェーズ1で定義しているEOP-3、EOP-4期間およびフェーズ2の2007年以降である。出力データの対象領域は35地点（フェーズ1の場合）もしくは52地点（フェーズ2の場合）のリファレンスサイト、5箇所のモンスーン領域および全球の3タイプのスケールがある。使用している衛星データは、MODIS、AMSR-E、SSM/I、PR、TMI、AVNIR2、PALSAR、PRISM等と数多く、データセットのパラメータも大気圏、海洋圏、陸圏、雪氷圏と多岐におよぶ

#### ■衛星

ALOS :

「だいち」は2006年に打ち上げられた地球を観測する人工衛星（陸域観測技術衛星）で、地図作成・地球観測・災害状況の把握・資源探査などでの利用を目的に開発されました。ALOSは、高精度で標高抽出を行うためのパンクロマチック立体視センサ(PRISM)、土地被覆の観測を高精度に行うための高性能可視近赤外放射計2型(AVNIR-2)、および昼夜や天候によらず陸域観測が可能なフェーズドアレイ方式Lバンド合成開口レーダ(PALSAR)の3つの地球観測センサを搭載しています。

#### ■センサ

パンクロマチック立体視センサ (PRISM)

#### ■プロダクトレベル

L1B1 (PRISM)

#### ■分解能

2.5m

#### ■作成エリア

ベトナム・フエ市

バングラデシュ・ダッカ市

モンゴル

### 7.2 トピックカテゴリ (IS019139)

geoscientificInformation

## 7.3 時間情報

開始日	2006-05-16
終了日	2011-04-22

## 7.4 地理的範囲

北限緯度	55
西限経度	75
東限経度	120
南限緯度	5

## 7.5 グリッド

## 7.6 地理情報を識別する名称

## 7.7 キーワード

### 7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	Land Surface >	No_Dictionary

### 7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

#### 7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS > Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

## 7.8 データセットに関するオンライン情報

PRISM : [http://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/index\\_j.htm](http://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/index_j.htm)

JAXA/ALOS : <http://www.satnavi.jaxa.jp/project/alos/>

## 7.9 データ周辺情報

## 7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
-------	---------	----------

## 8. 系譜情報

---

## 9. 品質等

## 10. データセット利用制約条項

### 10.1 データ提供者による利用規約

### 10.2 プロジェクトデータ利用規約

#### 10.2.1 データ統合・解析システム

DIASのデータ利用ポリシーは、第一にデータ提供機関のデータ利用規約が優先します。データ提供機関が利用規約を定めていない場合は、以下のDIASプロジェクトデータ利用規約が適用されます。

1. 利用者は、データ提供者が示すデータ利用規約がある場合はそれを優先し従うこと
2. 利用者は、DIASデータセットを研究及び教育目的に利用することができる（注1）
3. 利用者は、DIASデータセットの内容を改変しないこと
4. 利用者は、DIASデータセットを第三者に提供しないこと
5. 利用者は、DIASデータセットを利用した学会発表・論文発表・誌上発表・報告等を行った場合は、データ引用文に掲載されている文章をカッコ書きで引用すること
6. 利用者は、DIASデータセットを利用した学会発表・論文発表・誌上発表・報告等を行った場合は、公表物の写し（論文の場合は別刷り、口頭・ポスター発表の場合は講演要旨のコピー）をDIAS事務局に提出すること

（注1）

データ提供者による利用規約において、営利目的の利用も許諾されるデータセットに関しては、DIASデータセットとしても基本的に営利目的の利用を可能とするよう、現在準備を進めています。個別の問い合わせは、DIAS事務局までお願いいたします。

[DIAS事務局]

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3丁目17-1 TOKYU REIT 虎ノ門ビル2階

一般財団法人リモート・センシング技術センター

DIAS事務局宛

E-mail: dias-office@diasjp.net

### 10.3 プロジェクト免責事項

#### 10.3.1 データ統合・解析システム

1. DIASは、利用者が本データを利用することによって生じる、いかなる損害についても責任を負わない。
2. DIASは、予告なしに本サイト上の情報を変更・削除・提供を中止することがある。
3. DIASは、提供したデータに関する処理・解析作業についてサポートしない。

## 11 データ引用文

---

## 11.1 データ提供者データ引用規約

## 11.2 プロジェクトデータ引用規約

### 11.2.1 データ統合・解析システム

利用者は、DIASデータセットを利用した学会発表・論文発表・誌上発表・報告等を行う場合は、以下の引用文を謝辞として明記すること。また、データ提供者が示す謝辞の引用文がある場合は、それも併記すること。

”利用したデータセットは、文部科学省の委託事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS)の下で、収集・提供されたものである。”

## 12. 参考文献

Copyright(c) 2006-2018 Data Integration & Analysis System (DIAS) All Rights Reserved. This project is supported by "Data Integration & Analysis System" funded by MEXT, Japan
--